

ASKA VISION 2035

# 日本を基盤にグローバルへ未来を拓く

スペシャリティ・ヘルスケアカンパニーの確立に向けた  
コーポレート戦略とASKA VISION 2035ロードマップ

あすか製薬ホールディングス株式会社

# 本日の内容

---

- あすか製薬ホールディングスの強み
- あすか製薬ホールディングスの成長戦略  
(長期ビジョンASKA VISION 2035 および 中期経営計画2028)
- 株主還元方針・サステナビリティ

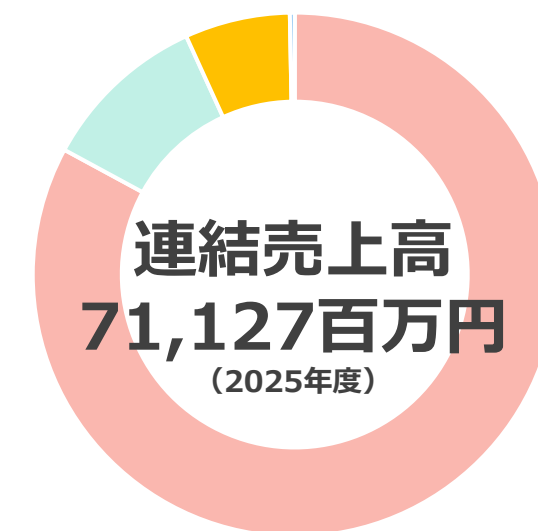
# あすか製薬ホールディングスの強み

# あすか製薬ホールディングスの概要

商号	あすか製薬ホールディングス株式会社
設立年月日	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
単元株式数	100株
本社所在地	東京都港区芝浦二丁目5番1号
従業員数(連結)	1,632名※1
グループ会社数	連結子会社:5社 持分法適用関連会社:3社
時価総額	834億7,080万円※2
証券コード	4886(東証プライム)



代表取締役社長  
山口 惣大



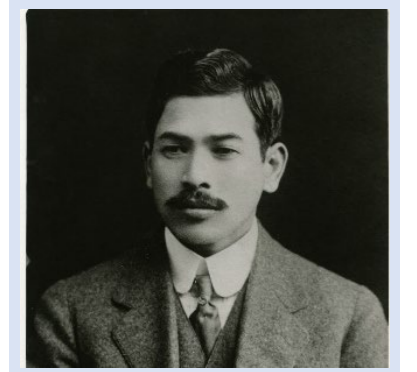
医療用医薬品事業 (あすか製薬)	82.9%
アニマルヘルス事業 (あすかアニマルヘルス)	10.3%
海外事業 (Hataphar)	6.5%
その他事業(検査等) (あすか製薬メディカル)	0.3%

※1 従業員数・グループ会社数は2025年3月31日現在  
 ※2 時価総額は2026年5月11日付終値(2,902円)より算出

# あすか製薬ホールディングスの歩み①

## 世のため人のため、国益を最優先する志が事業の原点

**1893年**  
(明治26年) 創業者山口八十八が洋酒・食料品輸入商「山口八十八商店」を開業。  
輸入一辺倒の状況に疑問を抱き、国益に資するべく食品の国産化を目指し、  
食品製造業への進出を図る。



創業者 山口八十八

**1908年**  
(明治41年) 「帝国社食品工場」を開設、国内初の人造バター(マーガリン)を製造・販売。  
以後、牛脂、豚脂、肉・野菜の缶詰、ハムなど次々と国産化に成功。  
製造過程で大量に廃棄されていた動物の臓器に着目、独自のホルモン薬の研究を開始。



帝国社食品工場

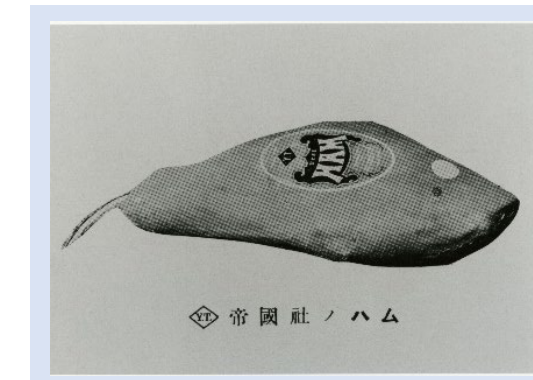
**1920年**  
(大正9年) 「帝国社臓器薬研究所」を創設、男性ホルモン製剤「スペルマチン」の製造・販売を  
開始し、医薬品製造業に進出。(当社の創立)



人造バター(マーガリン)



野菜の缶詰



ハム



男性ホルモン製剤  
「スペルマチン」

**ホルモンとは**  
主に内分泌臓器や組織でつくられ、体のいろいろな機能を調節する働きがあります。  
非常に少ない分量で効果があります。

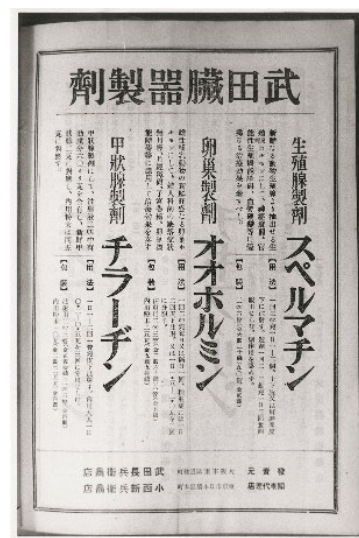
# あすか製薬ホールディングスの歩み②

## 創立以来100年にわたって内分泌ホルモンの研究で社会課題解決に取り組む

 <p>1920年～ 製薬企業としての 第一歩を踏み出す</p>	 <p>1955年～ 株式上場 成長～発展</p>	 <p>2005年～ あすか製薬誕生 さらなる発展へ</p>	 <p>2021年～ HD体制化 次の100年へ</p>
---	---	---	---

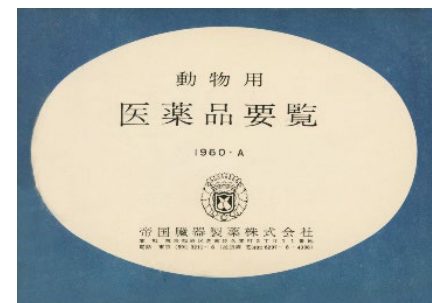
### 独創的な発想で次々とホルモンの製剤を発売

国内初となる様々なホルモンの製剤を発売



### ホルモン研究の技術を活用して事業を展開

医薬品開発に加えて事業の多角化を推進



### 女性の健康課題解決に寄り添い成長を目指す

時代のニーズにあった医薬品の開発・発売



### 持続的な成長のため新たなステージへ

継続的な企業価値の向上を追求していく



すべての絆とともに歩む

漢数字の「百」と「水引」をモチーフとしたデザインで100周年のめでたさを表しています。水引には一度結ぶとほどけにくいことから「未永くおつきあいする」という意味もあります。すべての絆とともに歩み、次の100年へつなげていくという思いを込めています。

# あすか製薬ホールディングスグループの強み

成長の源泉  
内分泌の研究・開発に長年に  
わたり特化し

**100**年超

多種多様な製品を開発・発売

あすか製薬  
産婦人科領域

**No.1**

産婦人科領域売上No. 1※  
※自社推計:2025年度

あすか製薬  
甲状腺領域

**No.1**

国内甲状腺製品シェア96%  
※自社推計:2025年度

あすかアニマルヘルス  
製品ラインナップ

飼料添加物  
産業動物用医薬品  
ペット用医薬品

様々な製品を発売

ハタファー(ベトナム)  
シナジーの創出

グループ間連携の深化

東南アジアで医療基盤を共創

あすか製薬メディカル  
分析技術

内因性ホルモン微量分析

非侵襲性検査事業の拡大

# あすか製薬ホールディングスの成長戦略

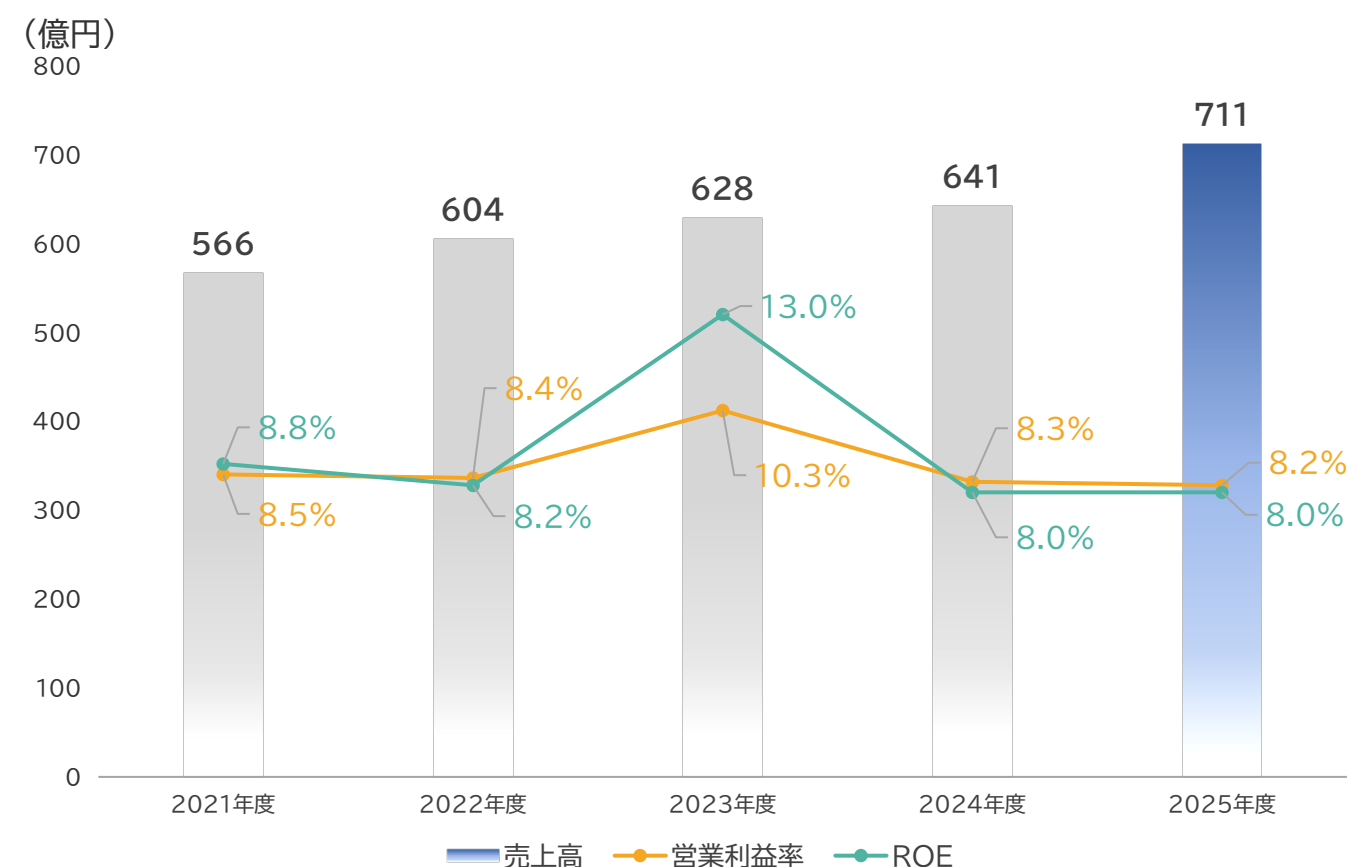
# 中期経営計画2025の総括

2025年度 数値目標 「売上高700億円」、「営業利益率8%」、「ROE8%」を達成

## 4つのビジョン

1. 医療用医薬品を軸に事業スコープ(領域・地域)を拡大する
2. オープンイノベーション推進により業務革新を実現する
3. 中核となる国内医薬品事業(スペシャリティ領域)で国内トップを確立する
4. 社会から信頼される会社であり続ける

## ▶ 中期経営計画2025の実績推移



## ▶ 中期経営計画2025における経営指標

売上高  
**711**億円

目標:700億円

- ▶ 先発品を中心に医療用医薬品事業は堅調に推移
- ▶ 産婦人科領域売上No.1を達成
- ▶ アニマルヘルス事業は売上70億円超を達成
- ▶ Hataphar社連結が売上に寄与

営業利益率  
**8.2%**

目標:8%

- ▶ 製品ミックスの改善による売上総利益の向上
- ▶ 原材料費や調達コストの削減による原価低減
- ▶ 設備投資による生産効率の改善

ROE  
**8.0%**

目標:8%

- ▶ 営業利益率の改善に伴いROEが向上
- ▶ 新たな株主還元方針の導入や戦略的な借入の活用などにより財務レバレッジを最適化
- ▶ 遊休資産や政策保有株式の売却による資本効率の改善

# あすかグループが目指す提供価値 「ASKA VISION 2035」

外部環境の変化

環境・社会

- ▶女性活躍・社会進出の推進
- ▶食糧危機・国内食料自給率の低下

政治・経済

- ▶少子高齢化に伴う国内市場の縮小
- ▶東南アジアの経済的な発展

医療・製薬

- ▶創薬難易度の上昇
- ▶健康意識の高まり



国内医療用  
医薬品



創薬



グローバル



アニマル  
ヘルス



検査・  
アラウンド  
ピル

あすかグループの  
コア・コンピタンス

「専門性の高い人材・組織力」 「ステークホルダーからの確かな信頼」  
「スペシャリティ領域における確固たるプレゼンス」

## あすかグループが目指す提供価値

女性活躍・社会進出の  
サポート

性差に由来する健康課題

高度な医療ニーズへの  
対応

新規モダリティによる創薬研究推進

グローバルでの  
プレゼンス発揮

アジアを中心に海外の医療に貢献

畜産動物・コンパニオン  
アニマルへの貢献

畜産動物やペットの健康維持に貢献

高まる健康意識への対応

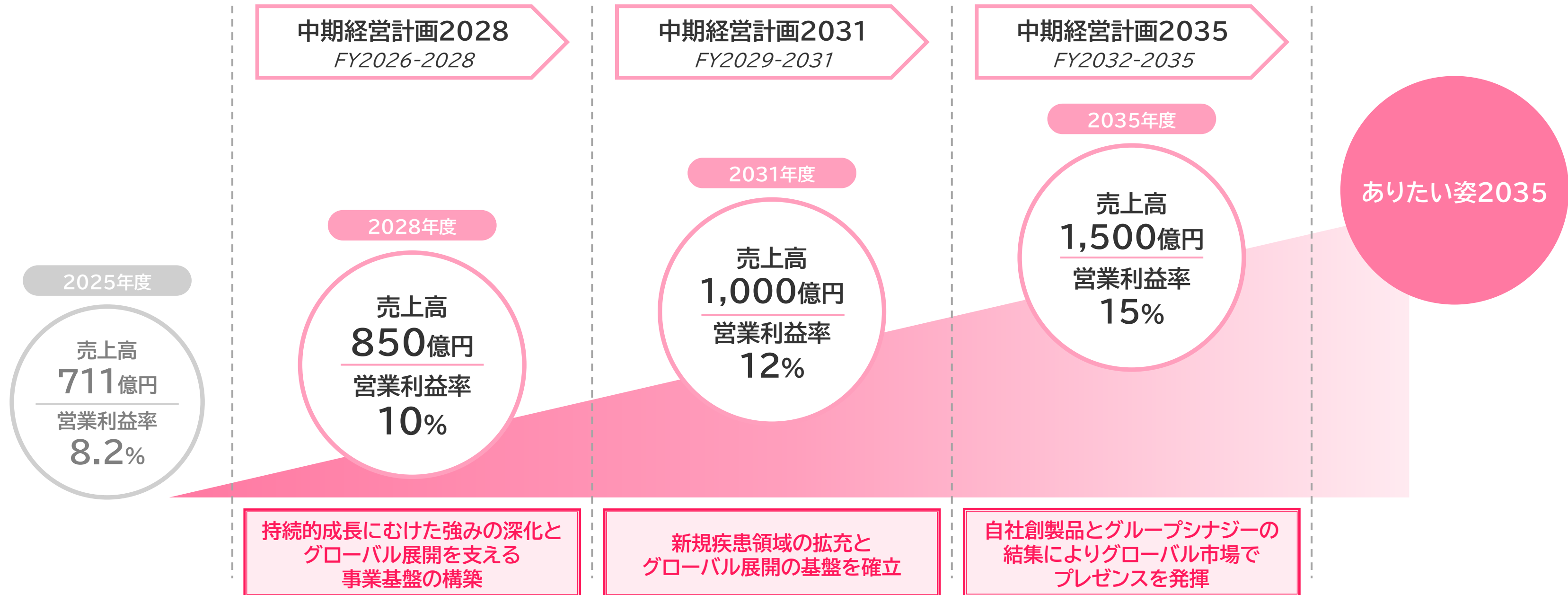
トータルヘルスケアへ貢献する

※ コア・コンピタンス: 競争優位の源泉となる自社の中核的な強み

※ コンパニオンアニマル: ペット、伴侶動物

# ASKA VISION 2035のマイルストーン

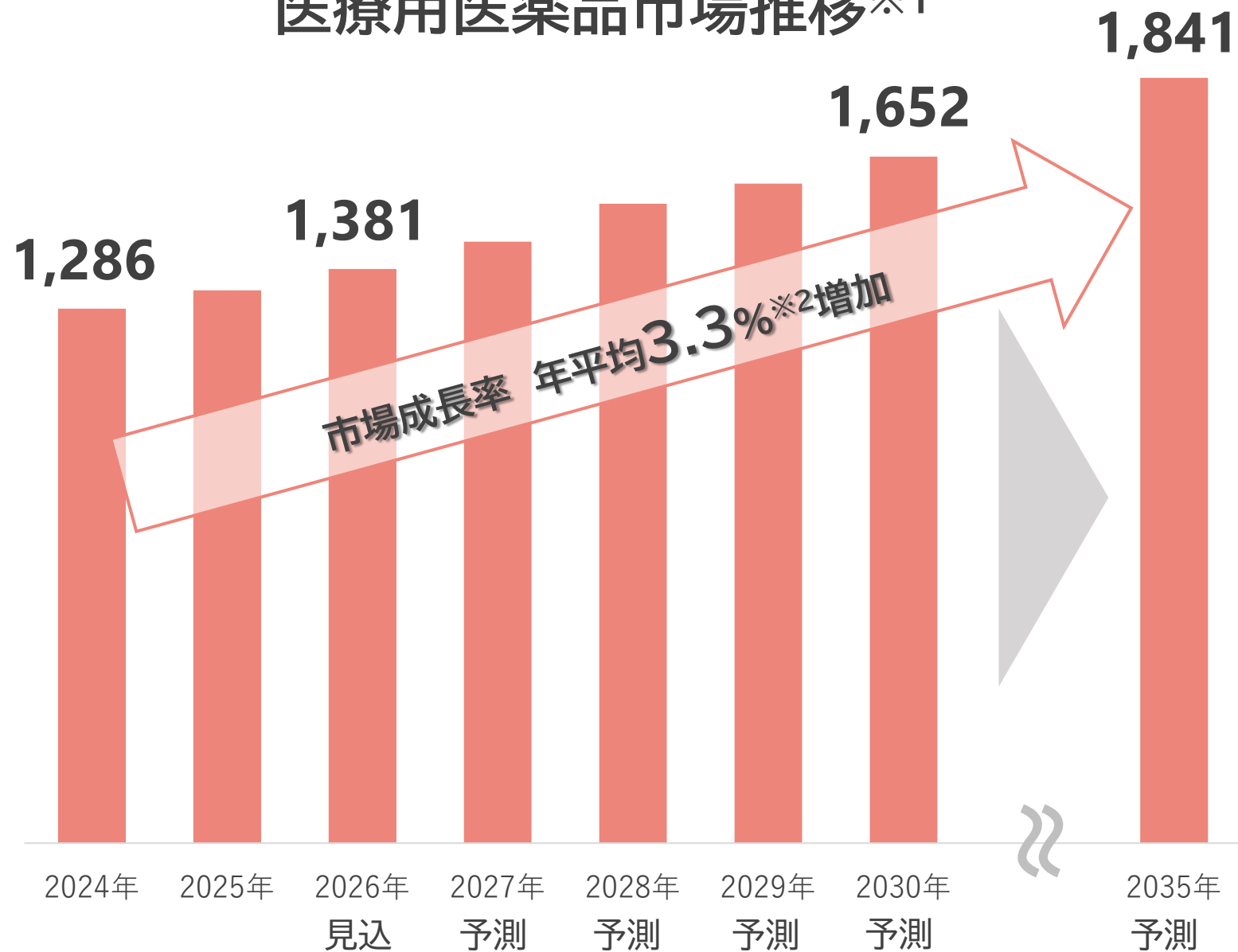
あすか製薬ホールディングスの長期的な目標として「ありたい姿2035」を設定した。急激な事業環境の変化へ柔軟に対応するために中期経営計画の期間を3年とした。「中期経営計画2028」は長期的な目標を達成するために重要な位置付けである。着実な中期経営計画の遂行によって、2028年度目標値および売上高1,000億円を早期に達成する。



# 産婦人科領域の医療用医薬品市場推移

## 産婦人科領域 医療用医薬品市場推移※1

(単位:億円)



## 産婦人科市場は持続的な成長を予測

## 社会情勢と当社の貢献

### 女性疾患関連

- 女性の社会進出に伴う少子化/晩婚化による患者増
- メディア等での露出回数の増加や女性の健康課題の理解  
およびヘルスリテラシーの向上
- Mint+による疾患啓発の推進

### 避妊関連

- オンライン診療の普及
- 国内初承認のPOP※3(ミニピル)発売
- 国内初緊急避妊薬  
スイッチOTC承認

### 不妊関連

- 不妊症治療の保険適用
- 今後の出産保険適用開始による拡大可能性

※1 株式会社富士経済「避妊・不妊・女性疾患関連市場の最新動向と方向性」(2026年3月) 無断転載禁止

※3 POP(Progestin-Only Pill):単剤型プロゲスチン製剤

※2 CAGR3.3%(2024年-2035年予測)

# 女性のライフステージ別 産婦人科製品一覧

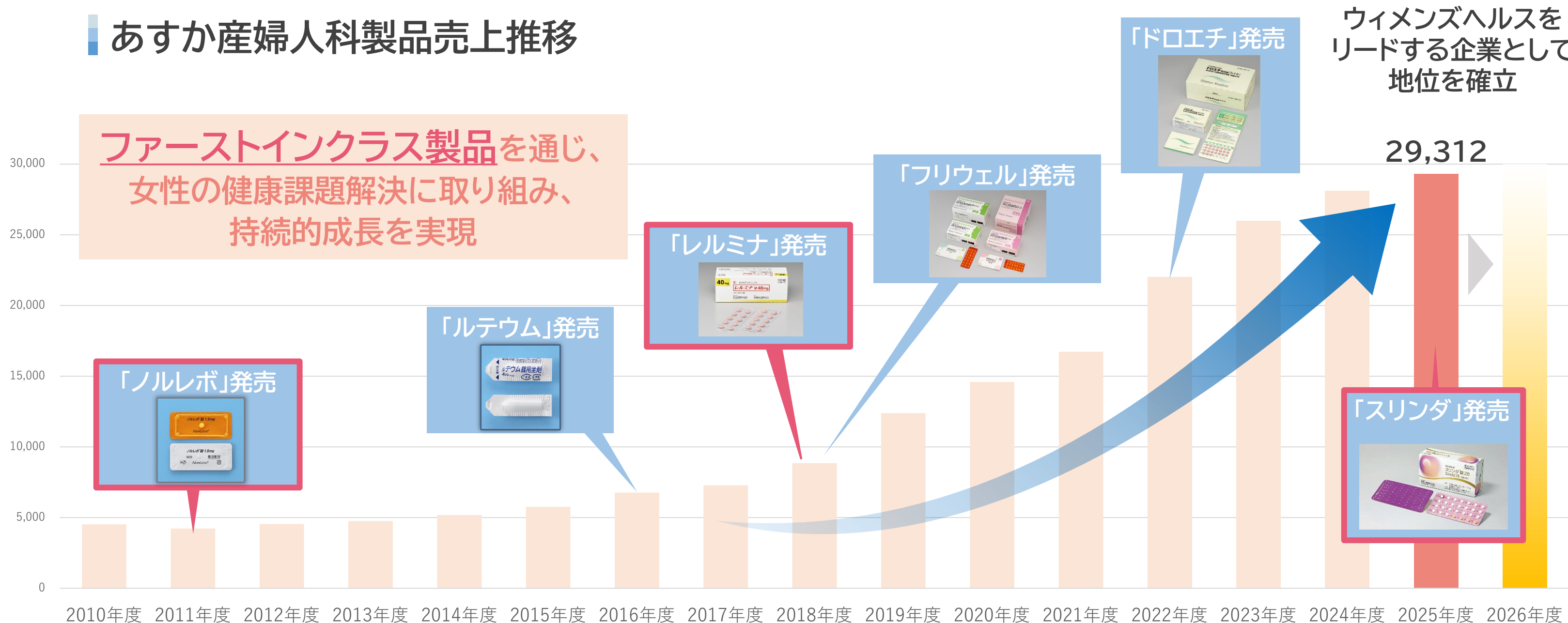
幼少期	思春期	性成熟期			更年期	老年期
	避妊薬	スリダ	アンジュ	ノルレボ	更年期障害	ホーリン
	月経随伴症状 ・子宮筋腫 ・子宮内膜症 ・月経困難症 など	レルミナ	リュプロレリン	AKP-022		
		ジエミーナ (コ・プロ)	フリウエル (AG)	ドロエチ		
		プラノバル	AKP-SMD106	AKP-009		
	切迫流早産 陣痛促進	マグセント	マグネゾール	メチルエルゴ メトリン		
		リトドリン	アトニン-O			
	不妊症	HMG注用	uFSH注用	セキソビット		
		ルテウム	ゴナトロピン			
	母子免疫ワクチン	アブリスボ (コ・プロ※)				

**当社が開発中の産婦人科製品**  
**AKP-022**  
**LPRI-CF113**  
**AKP-SMD106**  
**AKP-009 (準備中)**

**ラインナップを拡充し  
女性医療に貢献**

# 産婦人科領域のリーディングカンパニー

## あすか産婦人科製品売上推移



ウィメンズヘルスをリードする企業として地位を確立

# 産婦人科領域での年度売上No.1※を達成

※ 自社集計(単位:百万円)

## 女性関連医療への貢献を通じ、持続的な社会価値を創出

緊急避妊薬「ノルレボ®」  
スイッチOTC医薬品発売(2026年2月)

## レボノルゲストレル製剤(経口剤)

- 世界保健機関(WHO)より「必須医薬品」に指定
- 世界では約90の国と地域で処方箋なしの購入が可能

## スイッチOTC化の経緯

## 緊急避妊薬に関する情勢

**2016年**  
スイッチOTC化の要望書が提出

**2023年**  
緊急避妊薬試験販売開始

**2024年6月**  
あすか製薬が承認申請

**2025年10月**  
製造販売承認取得  
【承認区分】要指導医薬品

**2026年2月 発売**  
(販売:第一三共ヘルスケア株式会社)

RSウイルスワクチン「アブリスボ®筋注用」  
コ・プロモーション開始(2026年4月)

## アブリスボについて

- 国内初のRSウイルス母子免疫ワクチン
- 妊婦への接種により、母体に誘導されたRSウイルスに対する中和抗体が胎児へ移行し、出生後の新生児および乳児をRSウイルス感染症から守ることが期待される
- 2026年4月よりファイザー株式会社とのコ・プロモーション開始












- 2026年2月12日に開催された厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会において、小児におけるRSウイルス感染症の予防(定期A類)について、本剤が2026年4月より定期接種に使用するワクチンとして位置づけられることが了承されている

産婦人科領域のリーディングカンパニーとして  
社会的使命を果たす

## 開発パイプライン一覧

2026年5月時点

■ …産婦人科
■ …内科
■ …泌尿器科

開発番号 / 一般名	領域・効能	研究※1	非臨床※1	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請	承認
AKP-022 / レルゴリクス配合剤	子宮筋腫						第 III 相 実施中	
	子宮内膜症						第 III 相 実施中	
LPRI-CF113 / ドロスピレノン	月経困難症						第 I / II 相 実施中	
AKP-SMD106 / 治療用アプリ※2	月経前症候群・月経前不快気分障害 (PMS・PMDD)						特定臨床研究※3実施中	
AKP-009 / ルダテロン酢酸エステル	多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)						開発準備中	
テーマA	産婦人科領域							
MCN-009 / 治療用アプリ※2	過敏性腸症候群(IBS)						検証的治験※4実施中	
テーマB	内科領域							
AKP-009 / ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症						第 II 相 実施中	
AKP-021 / mPGES-1阻害剤	泌尿器科領域						第 I 相 実施中	
AKP-017 / テストステロン経鼻剤	泌尿器科領域						開発準備中	

※1 研究・非臨床のため詳細は非開示  
 ※3 医療用医薬品第 II 相試験に相当、サスメド(株)との共同開発

※2 薬事上の一般的名称は新設予定のため未定  
 ※4 医療用医薬品第 III 相試験に相当、(株)MICINとの共同開発

# アンメットメディカルニーズの高いスペシャリティ領域における革新的新薬への挑戦

あすか製薬は、長年培ってきたノウハウと創薬技術を活かし、創薬基盤をさらに強化するためのドライバーを導入している。産婦人科、内科、泌尿器科の各領域を重点ターゲットとし、グローバル展開を見据えた創薬を推進することで、「世界の女性のQOL向上への貢献」「革新的新薬の創出」「アンメットニーズの解決」を実現していく。

## あすか製薬の創薬プロセス

### 創薬力強化のドライバー



AI創薬の推進

AIによる創薬プロセスの高度化



イオンチャネル創薬技術の強化

電気生理に基づく創薬技術の強化



オープンイノベーションの加速

外部連携による創薬力の拡張



新規モダリティへの挑戦

最適なモダリティの選択

### あすか製薬の創薬基盤

#### 創薬技術



難易度の高い疾患動物  
モデルの作製技術



組織学的解析  
ホルモン変動評価



患者サンプルからのター  
ゲットID、オルガノイド

#### 蓄積されてきたノウハウ

- 疾患ナレッジの蓄積
- 動物モデルの構築技術
- 患者サンプルに基づくトランスレーショナル研究
- 真のアンメットニーズの把握
- KOLとの密な連携

### ターゲット疾患

#### 産婦人科

- 子宮内膜症・骨盤痛
- 多嚢胞性卵巣症候群
- その他産婦人科領域疾患

#### 内科

- 消化器内科疾患
- その他内科領域疾患

#### 泌尿器科

- 前立腺肥大症
- その他泌尿器科領域疾患

### グローバル展開

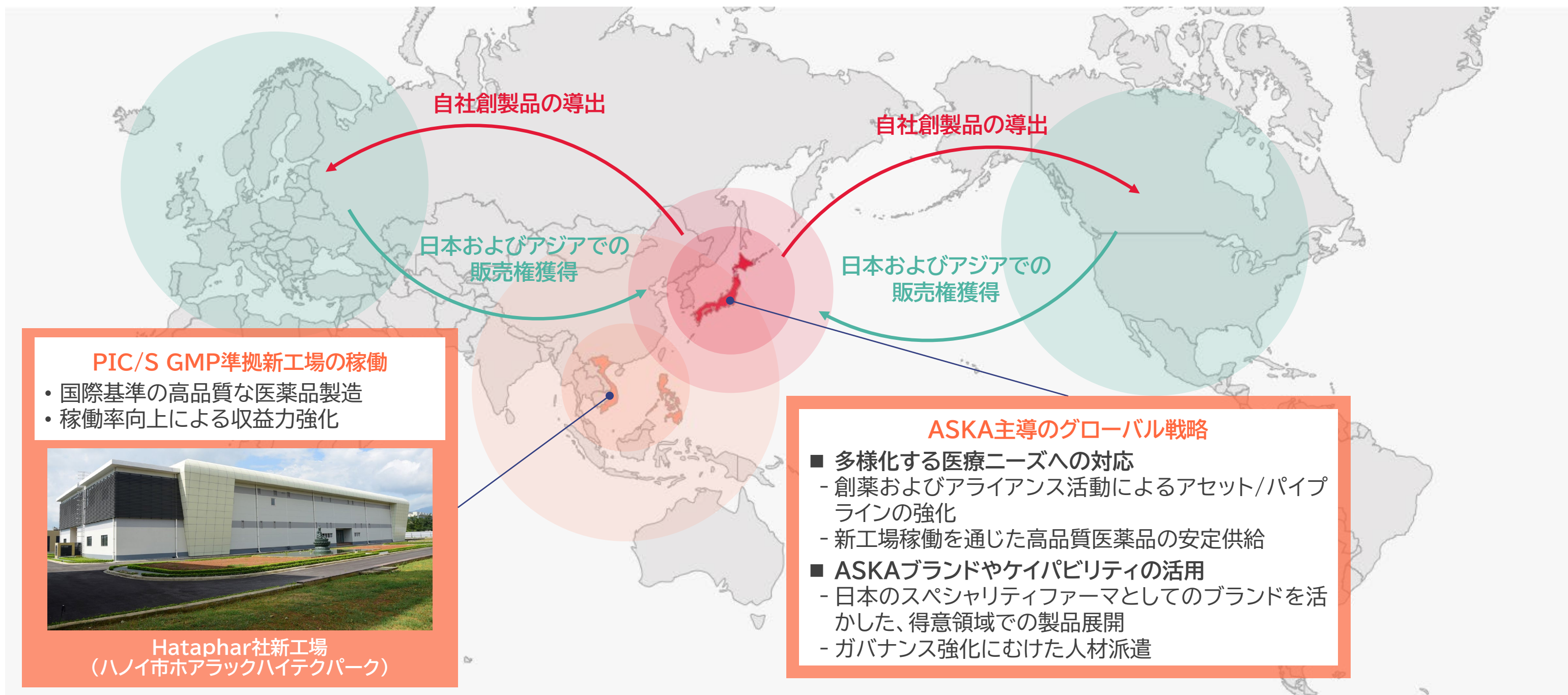
世界の女性の  
QOL向上に貢献

革新的新薬の  
グローバル導出

アンメットニーズの  
解決

# スペシャリティ・ヘルスケアカンパニーとしてのグローバル戦略

中期経営計画2028では、グローバル展開の加速に向け、東南アジアでの事業基盤確立を推進する。変化する医療ニーズに対応するため、新工場稼働を契機とした高品質医薬品の販売拡大と、アセット/パイプライン強化による重点領域での事業拡大を図る。



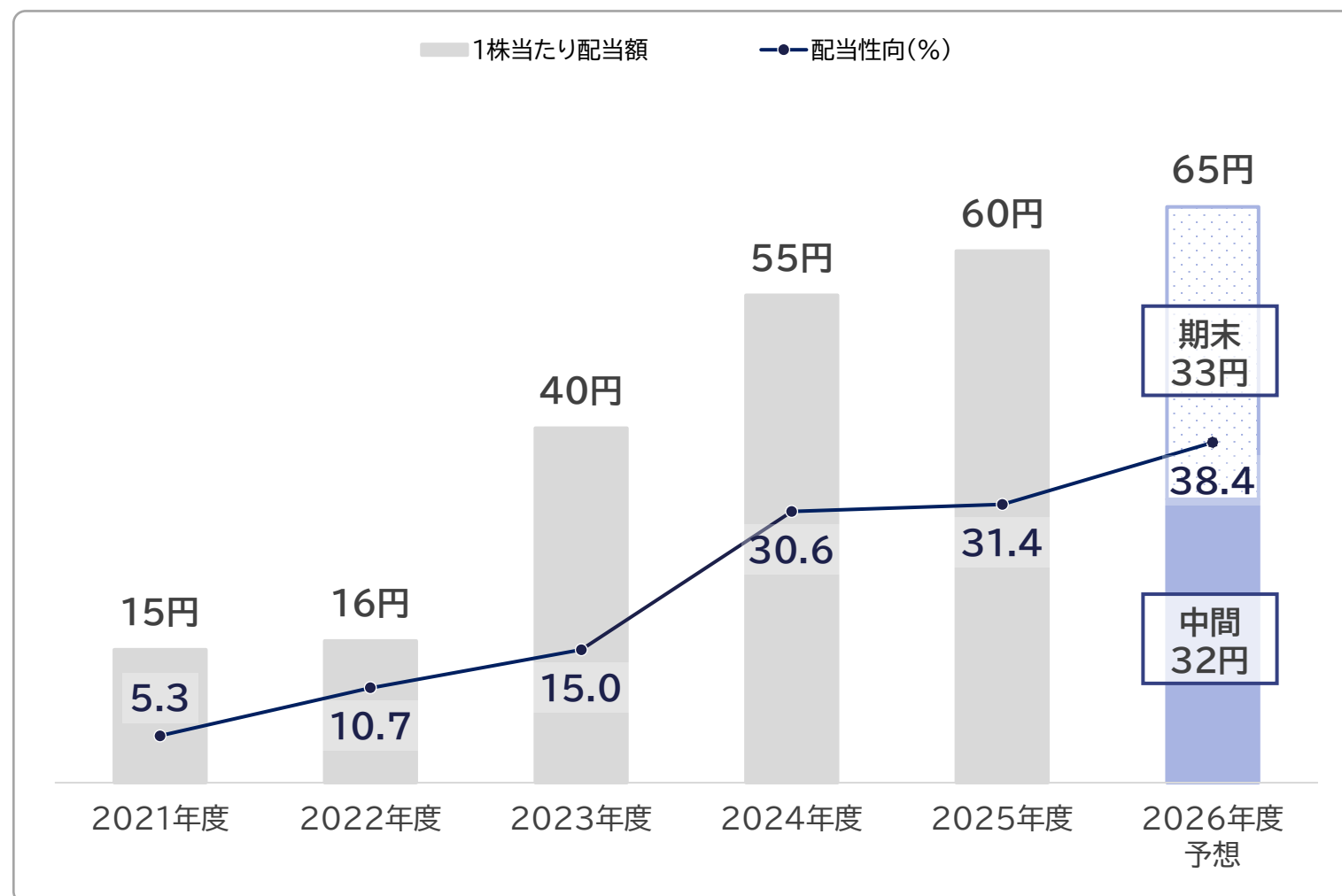
# 株主還元方針・サステナビリティ

# 株主還元強化 – 総還元性向40%を目安とする累進配当導入 –

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付けている。

中期経営計画2028では、**総還元性向※40%を目安**に自己株式の取得を検討しており、こうした方針のもと、株主還元のさらなる充実を図るとともに、配当の安定性および予見可能性を高めることを目的として**累進配当(特別配当を除く)**を導入する。

## ▶ 1株あたりの配当額推移



## ▶ 配当方針の変更

株主還元の基準を連結配当性向30%から総還元性向40%へと変更し、累進配当を導入する。

変更前

### 【～2025年度】

業績連動利益配分として、

- ✓ 連結配当性向30%を目安とする
- ✓ 1株あたり配当金の下限は年間30円とする
- ✓ 業績に連動した利益還元を行いつつ、安定的な配当を維持する

変更後

### 【2026年度～】

業績連動利益配分として、

- ✓ **総還元性向40%を目安**に株主還元を行い、利益成長に応じた配当水準の向上を目指す
- ✓ 株主の皆様への利益還元の姿勢を明確にするため、**累進配当(特別配当を除く)を導入し、原則として減配を行わない方針**とすることで、安定的な配当の維持に努める

※ 配当性向が当期純利益に占める配当金の割合を示すのに対し、総還元性向は配当金と自社株買いの金額を合計して当期純利益で割ったものを指す株主還元指標の1つである

# 6つのESGマテリアリティと女性の健康への貢献

## ESGマテリアリティ

### 環境

- 環境経営の推進

### 社会

- 企業価値向上のための多様な人材の育成
- 女性の健康とアニマルヘルスに貢献する
- 高品質な製品の安定供給と適正情報提供
- 人権の尊重

### ガバナンス

- ガバナンス強化

## 女性が充実した日々を過ごすために取り組むべき課題

当社が試算した月経随伴症状に関わる経済損失

あすか製薬の取り組みを通じて、**813億円**の経済損失の削減に貢献



「産婦人科領域のリーディングカンパニー」として女性の健康をめぐる社会課題を解決する

コーポレートメッセージ

# あすも、みらいも、すこやかに



あすか製薬ホールディングス株式会社

# 株主・投資家様向け情報のご案内

当社ホームページおよび各種SNSにて情報発信しておりますので是非ご覧ください



<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/>

IRメール配信サービス  
当社のIRに関する最新情報をメールでお届けします。  
④ IRメール配信サービス登録



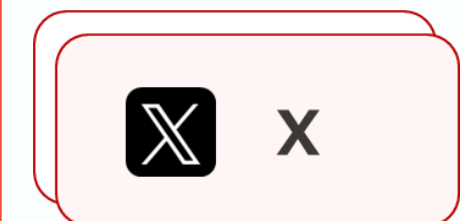
<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/mail.html>



@ASKA\_Pharmaceutical\_Holdings



<https://www.youtube.com/channel/UCrQHYk0JSKuE25fAzdfQ43g>



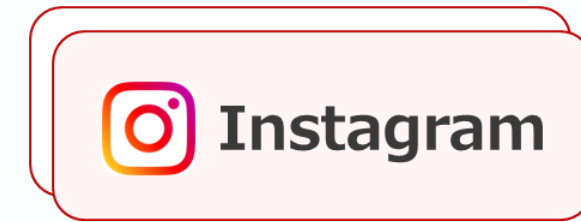
@aska\_pharma\_hd



[https://twitter.com/aska\\_pharma\\_hd](https://twitter.com/aska_pharma_hd)



<https://www.aska-pharma.co.jp/mint/>



@aska\_pharma2005



[https://www.instagram.com/aska\\_pharma2005/](https://www.instagram.com/aska_pharma2005/)

# 重要な注意

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。
- 医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



証券コード:4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

グループ経営企画部

e-mail: [kouhou@aska-pharma.co.jp](mailto:kouhou@aska-pharma.co.jp)